



# 浅野みえ子

無所属

所沢市議：市政レポート NO.30 2012年 5月 吉日

いつも「浅野みえ子レポート」をお読み下さってありがとうございます



お知らせ

私は、民主党を離党しました。「無所属」で仕事をして行きます



## 24年度事業の一部紹介

2月21日～3月27日3月定例会で採択

### 防災行政無線を11基増設

親基もデジタル無線にする

**8,813万3千円**

\*国からの補助が3分の1

### 所沢駅西口地区まちづくり事業

西武車両工場跡地を含むこの地区を、市の表玄関に相応しい整備をする為に、計画的な土地利用の事業計画案を作成する協議会を設置する。西と東を繋ぐアンダーパス道路等も含めた開発。協議会は市と関係権利者、有識者、自治会代表等で構成する

**1,123万2千円**

西所沢駅の東西を結ぶ自由通路実現に向けて24年度も引き続き事業を進めます



### 北秋津・上安松地区まちづくり事業

所沢駅近接地区（東口地区）に相応しい街づくりを目指し、土地地区画整理事業を基本に地元地権者を主体とする組織により、取り組みを始める。専門家の意見や助言を得て勤めるそう。

**65万5千円**

### 家庭ごみを土曜日に受け入れます

現在、月～金曜日に実施しており、平成22年度の東部クリーンセンターの利用実績は、車での搬入が約78,000台だった。今年度4月から、毎月第1土曜日の午前中のみ実施する。業務の一部を民間委託する。

**50万7千円**

### 所沢市の市税収入が減少しています。厳しい経済情勢です

平成22年度市税：537億（歳入の66%） 平成24年度市税：500億（歳入の57%）

\*不交付団体から交付団体に変じて、国の普通交付税が、22年度から交付されました

\*22年度交付額：12億 23年度交付額：18億 24年度交付額予定：18億

\*民生費（保育行政、高齢者福祉行政、生活保護費等）が増加しています

\*市税収入を増やす施策が議会からも市長、市執行部へ提案されています。そこで、

\*24年度「産業経済部」を設置。商工業・農業施策に力を入れる事になりました。期待します。



身近な生活道路が、少しずつ改善されています  
住民のみな様の声を行政に届けて安全の為に働きます



北秋津小学校を降りていったトンボ橋との交差点所付近が、地権者のご協力で家が下がりました。道路が拡幅されました。



所沢駅西口入口の交差点が、歩行者と車が分離されました。24年度中にはスクランブル信号化されます。県と警察と市が協議して進めています。



荒幡交差点～(仮)川島田橋の狭い道路の一部が地権者のご協力で、拡幅され工事も完了。ありがとうございます。この部分は歩行者用の白線も出来ました。(仮)信号設置も引き続き要望しています。



市道東幹線の東村山市境目～北秋津交差点周辺まで、全面舗装工事が完成。24年度予算で陸橋に向けて工事をします。歩行者の為の歩道改修も要望しています。



北秋津交差点の三角地の樹木が強風で電柱に寄りかかってしまい心配でしたが、市とNTTに連絡しましたら、地権者の方がすぐに木を切って下さいました。ありがとうございます。

山火事の心配があった鳩峰公園久米側入口周要望の声が届き、公園課が動き綺麗になっています。下草刈りや樹木の伐採を業者に委託したり、職員の方も住民の有志の方と一緒に動いて汗をかいています。



近くの保育園児が散歩を楽しんでいます

## 24年度で、子育て・教育に関する予算いろいろ



### 北秋津小学校

・耐震工事を実施する: 24年度中に完了  
1億5,363万6千

・校門に防犯カメラを設置する: 250万

### 南陵中学校

・耐震工事設計をする : 736万5千

・耐震工事は25年度に実施する

\* 南小学校は耐震工事が完了済

\* 荒幡小学校は、耐震を備えた校舎建設をした

\* 25年度中に市内全小・中学校が耐震完了



### 小学校「心のふれあい相談員」復帰

・小学校における不登校児の減少を目指すと共に、中学校と連携し「中1ギャップ」を解消する。相談室登校の児童に対して 学級復帰を支援する

・21年度までであったのを、教育委員会が22年度23年度と廃止したので、私は予算復帰を訴えて来ました。今年度から、藤本市長の強い思いもあり予算化しました

### 保護者が「1日保育者体験」をする事業

156万 (内: 県費が48万5千)

\* 「保育園で、我が子以外の幼児と関わる経験を通して、我が子との関係にゆとりが見られて親子の絆が深められると、好評な事業」今年度は松井和氏が52ヶ所の保育園で保育士、保護者に「施設の保育サービスが進む中で、親の役割をサービスに肩代わりさせずに親が子育ての楽しさを知る」内容の講演をする(埼玉県内保育所の97%が実施している)

### 子ども医療費助成

10億 8,143万1千

対象年齢: 0才 ~ 中学3年生

対象: 通院及び入院に係わる医療費無料

対象者数: 約4万2千人

\* 私は「過剰医療」「過剰受診を抑制し、適正受診を周知するよう市に求めています。市も周知に努めています。

所沢市議会が動いています。私は議会運営委員会 (= 議運) の委員長を1年間努め、議会改革を進めました

### 議員の定数について協議する審議会を設置

・23年10月に地方自治法が改正されて、議員の定数は各自治体で決める事になりました。それまでは34万人の自治体は上限数46名でした。・現在、所沢市の議員定数は36名ですが、36名の根拠もなくなりました。

・議員定数のあり方を所沢市議会として決める事に決定。審議会を設置し諮問しました。委員5人の方が協議をして所沢市に相応しい定数のあり方を答申として出します。

(24年12月までに) 審議委員の方は、

1. 廣瀬克哉氏 (法政大学政治学部教授、所沢市在住)
2. 江藤俊昭氏 (山梨学院大学法政学部教授)
3. 新井喜代子氏 (所沢市体育協会副会長)
4. 渡辺良雄氏 (所沢市地区労元議長)
5. 本橋辰哉氏 (公募した市民の方)

\* 第1回審議会: 5月14日9時半 ~ 予定: 傍聴可  
お問い合わせ: 議会事務局 電話(2998-9256)

12名の議員による  
「政策討論会」を実施

・2月4日

・テーマは「地域経済の活性化  
と所沢ブランドの創造」

・138名の市民が参加

全国25の県市町村議会が、  
所沢市議会に視察に来ました  
北は「稚内市議会」から、南は「大分県議会」の議員の方々が来ました。説明対応は、ほとんど議運委員長の私と広聴広報委員長の石本市議と行いました。議会基本条例を制定して議会報告会をしたり市民に分かり易い「議会改革」をしていると全国の議会が所沢市議会を評価しています。



- 1月 26～27日：3会派（13人）で視察  
松本市議会の政策討論会・長野市の温水プール  
28日：県主催の国民保護法訓練見学（航空公園）  
29日：10時～北秋津小 PTA、親子で遊ぶ  
う会主催の第6回おもちつき大会  
・13時～コーポラス「陸会」新年会  
31日：次世代育成地域協議会の傍聴  
2月 2日：建設水道常任委員会視察（柏市へ）  
4日：・10時～新所沢幼稚園の作品展見学  
・14時～所沢市議会初の「政策討論会」  
・18時～北秋津・上安松まちづくり事業の傍聴  
5日：少年野球（ピクトリー、バード）へ西武  
ライオンズの野球指導者が来て指導（見学）  
・12時～「第22回こどもルネッサンス」  
6日：議会全員協議会「仮総合福祉センター」  
15時～議運：議員定数に関する審議会設置が議題  
10日：「緑化推進会議」の傍聴  
12日：所沢フォーラムおおぞら会派の発表会  
その後、「所沢市吹奏楽祭（大岩征子会長）」  
13日：「文化財保護委員会」傍聴  
14日：代表者会議・議会運営委員会（3月議会）  
15日：「西所沢駅西口開設検討協議会」傍聴  
16日：所沢市学び改善プロジェクト委員会傍聴  
17日：教育委員会会議傍聴（2学期制3学期制）  
18日：元消防長斉藤操氏「瑞宝小綬章受章祝賀会」  
2月21日～3月27日：24年3月定例議会  
22日：「安心・安全の支部会議」南陵中学校  
25日：23年度地域の底力事業発表会：自治連  
3月4日：北秋津町内会安全パトロール受賞祝会  
10日：桑の実西所沢保育園の就工式  
15日：市立南陵中学校卒業証書授与式  
23日：北秋津小学校卒業証書授与式  
24日：松原学園（児童発達支援施設）落成式  
28日：所沢三ヶ島工業団地地区を視察（3会派）  
29日：松井和氏講演会（青年会議所主催）  
4月 3日：北秋津「さくら画廊」鑑賞  
9日：南陵中学校入学式  
13日：南小学校愛校会幹事会  
15日：北秋津長生クラブ総会  
17日：南陵中学校愛校会幹事会  
23日：議員定数のあり方審議会の公募委員選定議運  
25日：北秋津小学校愛校会総会  
28日：北秋津長生クラブのグランドゴルフ  
29日：北秋津町内会総会

## みえ子のおしゃべり

民主党の国政運営に期待して「国民生活が第一」と約束した民主党政権と連携して「市民生活が第一」との理念で市議として働きたくて民主党議員となりました。しかし、地方議員の声は国政に届きませんし国民生活が第一の国政がされているように思えなくて、私なりに悩んでいました。それが、去年12月に福島第一原発事故がどう考えても収束していないのに、「収束宣言」をした時に、私の中で何かが切れました。被災者の方々の生活復興も出ていないし、所沢市も放射能測定をずっと続けていますし、もっと困っている自治体があります。それらの地方の現実を国は、どう考えているのでしょうか？そこで年を越えて民主党に「離党届」を出しました。二月十八日に民主党県連幹事会で受理されました。三月二十八日の「読売新聞」と「埼玉新聞」に私の記事が掲載されました。新聞の内容を一部紹介しますと以下です。「所沢市の浅野美恵子市議が民主党を離党した事が分かった。浅野氏は「保育行政など市民生活に関係する市議の声が国政に反映されず、福島第一原発事故について野田内閣が収束宣言するなど中央政権の体質に失望した。支持者からも離党を勧める声が強かった」と理由を語った。」です。お一人おひとりの住民の方へご挨拶せずにレポートでのご報告をお許し下さい。

今後共、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

浅野みえ子自宅

北秋津876-3所沢コーポラスH204

浅野みえ子事務所：靴のテイクワン向い

TEL (2995) 1463

FAX (2991) 3538

メール asanomieko@nifty.com

HP有り：日々の活動をブログで記録しています